

日向市キャリア教育支援センターの今後に残された課題について

1. 「よのなか先生」300人構想の実現

- ・ 産業界への具体的な依頼作業 (従業員教育の一環として)
- ・ 現役退職後のシニア層への「役割」提供運動 (地域づくり運動として)

2. 「よのなか教室」の各学校5回実施の実現

- ・ 小中高校25校(小14、中7、高4)×5=125回 (現状は約90回/年)
- ・ 2016年度以降の取組としての学校への働きかけ

3. 各学校における独自の取組(施策)との整合性と調整

- ・ 各学校においては、別紙の通り様々な「キャリア教育」が実施されているが、これら施策と「よのなか教室」との位置付け整理や連携強化が必要である。
- ・ 基本的には、多様な施策が豊富にあり、次々に新しい施策が取り込まれる状況が理想である。(ただし、協力サイドの産業界に混乱や軋轢を生じさせない整理も必要)

4. 各学校において毎年継承されていくための施策の実施

- ・ 学校(先生)の自主性にすべてを任せるのではなく、市教委が主体的に企画案を作り各学校に応募を促す(出前授業の方式)か、商工会議所(または支援センター)が主体的に企画案を作り各学校に応募を促す(横須賀商工会議所の方式)かが、必要なのではないか

5. 高校生を核としたキャリア教育の実施

- ・ 「高校よのなか教室」の全中学校での実施
(中学2年生を対象に、2016年3月実施が望ましい)
⇒結果として富島中、東郷学園中、美々津中のみの実施となった
- ・ 「高校生」を「よのなか先生」とした「よのなか教室」の小中学校での実施促進
(これを、日向モデルに育て上げる)

6. 第二期3ヶ年計画(H.28~30年)の目標と課題の明確化

- ・ 第一期3ヶ年計画の当初の構想案の総括と評価をふまえて
- ・ 「よのなか教室」を核として、どこまで目標として設定するか

7. 広報戦略の強化

- ・ ホームページの更新
- ・ キャリア教育通信の充実
- ・ 諸データベースの整備(よのなか先生、よのなか教室の実績など)

8. 地域、行政の施策との連携の強化

- ・ 地方創生策(日向市総合戦略)としての人財育成施策との連携
- ・ 市長部局(産業政策部)との連携
- ・ 市長の理解と方針に基づく、市教委への予算強化

9. 学校(先生)訪問ならびに産業界(企業経営者)訪問の強化

以 上